



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月9日

上場会社名 株式会社イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 3970 URL <https://www.innovation.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO 兼 COO (氏名) 富田 直人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 山崎 浩史 (TEL) 03(5766)3800
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,407	22.7	276	△8.2	277	△7.7	138	△6.5
2022年3月期第2四半期	1,961	44.1	300	63.2	300	62.9	147	22.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 108百万円 (△38.8%) 2022年3月期第2四半期 176百万円 (47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	56.48	55.48
2022年3月期第2四半期	62.95	62.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,047	3,286	79.9
2022年3月期	3,769	3,022	79.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,235百万円 2022年3月期 2,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期（予想）			—	39.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,550	26.7	830	6.7	830	5.8	475	6.0	185.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）INNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	2,525,900株	2022年3月期	2,399,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	40,866株	2022年3月期	44,066株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	2,490,328株	2022年3月期2Q	2,347,554株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、行動制限の緩和が徐々に進んでおり、経済活動の回復が期待されております。しかし、原材料費の高騰やウクライナ情勢、国内では急激な円安の進行など、依然先行きは不透明な状況であります。

このような環境のもと、当社グループは、創業以来培ってきた営業、マーケティング、そしてテクノロジーのノウハウを活用して、グループミッションである「働くを変える。」の実現に向けて法人営業の新しいスタイルを創造する事業の拡大に取り組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は、営業を中心とした人材採用の強化と費用対効果の高い集客施策の実施に加え、テレワーク関連カテゴリにとどまらず多くのカテゴリで掲載製品数が増加したことが資料請求に大きく寄与したことから、オンラインメディア事業を中心に拡大基調で推移いたしました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,407,818千円（前年同期比22.7%増）、営業利益は276,319千円（前年同期比8.2%減）、経常利益は277,406千円（前年同期比7.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は138,220千円（前年同期比6.5%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の業績の詳細は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めておりますINNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合が提供しておりますVCファンド事業に関しまして、重要性が増したため当第2四半期連結会計期間より独立表記しております。

(オンラインメディア事業)

オンラインメディア事業の主力である「ITトレンド」におきましては、当第2四半期連結累計期間の来訪者数（延べ人数）は10,545,369人（前年同期比22.0%増）となりました。また、掲載製品数が3,343製品（前年同期比60.3%増）となったことに伴い資料請求数が増加したこと等により、オンラインメディア事業の売上高は1,776,854千円（前年同期比29.3%増）、セグメント利益は668,043千円（前年同期比38.9%増）となりました。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業の主力製品である「List Finder」におきましては、当第2四半期連結会計期間のアカウント数は493件（前年同期比8.4%増）となりました。また、アカウント当たりの単価は上昇し続けていること等によりITソリューション事業の売上高は240,326千円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は59,549千円（前年同期比36.3%増）となりました。

(金融プラットフォーム事業)

金融プラットフォーム事業におきましては、独立系フィナンシャルアドバイザーの増員等による体制強化に注力いたしました。当第2四半期連結累計期間における金融プラットフォーム事業の売上高は387,976千円（前年同期比11.6%増）、セグメント損失は12,511千円となりました。

(VCファンド事業)

VCファンド事業は、第1四半期連結会計期間から新たに連結子会社となったINNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合が提供しておりますVCファンド事業であります。当第2四半期連結累計期間におきましては、投資先のバリュアップやEXITによりファイナンシャル・リターン及び当社グループ事業とスタートアップとの協業を促進することによるストラテジック・リターンの獲得を目的として、ファンドを運用してまいりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるVCファンド事業のセグメント損失は76,783千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては4,047,159千円となり、前連結会計年度末に比べ277,663千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が55,909千円、前払費用が50,233千円、関係会社株式が15,067千円及び投資有価証券が215,742千円増加し、受取手形及び売掛金が55,241千円減少したことによるものであります。

負債につきましては760,868千円となり、前連結会計年度末に比べ13,412千円増加いたしました。これは主に、買掛金が72,180千円及び未払費用が43,940千円増加し、未払法人税等が100,502千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては3,286,290千円となり、前連結会計年度末に比べ264,250千円増加いたしました。これは主に、資本金と資本剰余金がそれぞれ111,671千円及び利益剰余金が47,042千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ55,909千円増加し、2,236,514千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は238,695千円（前年同期は247,930千円の獲得）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益224,313千円、減価償却費31,476千円、減損損失52,709千円、売上債権が55,252千円減少、仕入債務が68,328千円増加、未払費用が41,938千円増加、前払費用が38,166千円増加、法人税等の支払額191,317千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は316,085千円（前年同期は122,577千円の支出）となりました。この主な要因は無形固定資産の取得による支出55,339千円及び投資有価証券の取得による支出241,182千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は133,298千円（前年同期の財務活動による支出はありません。）となりました。この主な要因は新株予約権の行使による株式の発行による収入199,256千円及び配当金の支払による支出89,330千円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日公表の「2022年3月期 決算短信」における業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,180,604	2,236,514
受取手形及び売掛金	704,020	648,778
前払費用	54,405	104,639
その他	76,175	79,929
貸倒引当金	△449	△532
流動資産合計	3,014,757	3,069,329
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	13,757	13,136
工具、器具及び備品（純額）	5,420	6,641
有形固定資産合計	19,178	19,777
無形固定資産		
ソフトウェア	184,674	160,831
ソフトウェア仮勘定	30,991	31,328
無形固定資産合計	215,666	192,159
投資その他の資産		
投資有価証券	390,066	605,808
関係会社株式	6,600	21,667
従業員に対する長期貸付金	3,300	3,300
繰延税金資産	92,744	105,829
その他	27,809	29,973
貸倒引当金	△625	△686
投資その他の資産合計	519,894	765,892
固定資産合計	754,739	977,829
資産合計	3,769,496	4,047,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	183,924	256,105
未払法人税等	195,099	94,597
未払費用	172,287	216,227
契約負債	24,111	28,553
賞与引当金	2,299	2,999
その他	149,458	139,883
流動負債合計	727,181	738,367
固定負債		
株式給付引当金	20,106	20,664
その他	168	1,836
固定負債合計	20,274	22,501
負債合計	747,456	760,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001,746	1,113,418
資本剰余金	981,156	1,092,828
利益剰余金	1,040,531	1,087,573
自己株式	△37,607	△34,897
株主資本合計	2,985,827	3,258,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,330	△23,337
その他の包括利益累計額合計	△6,330	△23,337
新株予約権	—	6,046
非支配株主持分	42,543	44,658
純資産合計	3,022,040	3,286,290
負債純資産合計	3,769,496	4,047,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,961,870	2,407,818
売上原価	960,078	1,281,645
売上総利益	1,001,792	1,126,172
販売費及び一般管理費	700,932	849,853
営業利益	300,859	276,319
営業外収益		
受取利息	1,012	7
助成金収入	—	1,100
手数料収入	—	1,144
雑収入	384	98
営業外収益合計	1,396	2,350
営業外費用		
支払利息	0	—
支払手数料	183	618
創立費償却	—	400
投資事業組合運用損	1,581	245
営業外費用合計	1,765	1,264
経常利益	300,490	277,406
特別損失		
固定資産除却損	3,079	383
減損損失	—	52,709
特別損失合計	3,079	53,092
税金等調整前四半期純利益	297,411	224,313
法人税、住民税及び事業税	117,927	104,554
法人税等調整額	5,342	△5,577
四半期純利益	174,141	125,336
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	26,364	△12,884
親会社株主に帰属する四半期純利益	147,777	138,220

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	174,141	125,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,837	△17,006
その他の包括利益合計	2,837	△17,006
四半期包括利益	176,979	108,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,615	121,214
非支配株主に係る四半期包括利益	26,364	△12,884

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	297,411	224,313
減価償却費	20,683	31,476
受取利息及び受取配当金	△1,012	△7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	143
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,760	699
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5,032	558
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,581	245
支払利息	0	—
減損損失	—	52,709
固定資産除却損	3,079	383
株式報酬費用	8,699	9,693
売上債権の増減額 (△は増加)	90,132	55,252
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,489	68,328
未払費用の増減額 (△は減少)	22,590	41,938
前払費用の増減額 (△は増加)	△33,087	△38,166
その他	△25,190	△22,946
小計	385,199	424,621
利息及び配当金の受取額	1,012	7
利息の支払額	0	—
法人税等の支払額	△144,942	△191,317
法人税等の還付額	6,662	5,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,930	238,695
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,682
無形固定資産の取得による支出	△67,492	△55,339
投資有価証券の取得による支出	△55,085	△241,182
関係会社株式の取得による支出	—	△15,067
その他の支出	—	△2,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,577	△316,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	199,256
新株予約権の発行による収入	—	8,372
非支配株主からの払込みによる収入	—	15,000
配当金の支払額	—	△89,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	133,298
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	125,352	55,909
現金及び現金同等物の期首残高	1,997,781	2,180,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,123,134	2,236,514

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。